

## 学校教育情報化推進計画の進捗状況調査結果

評価：○ 達成、△ どちらでもない、● 十分でない、－ 未実施

## 基本方針 A：各教科等における効果的なICT活用

<b>【導入期】個に応じた学習ツールとしてのICT活用の充実</b>	評価
具体的施策①：授業中の必要に応じた、学習の道具としてのICT活用の充実	△○
具体的施策②：ドリル学習システムによる補充、学習履歴に基づく個別指導の充実	●
<b>【充実期】授業支援システム等の活用による協働的な学習の充実</b>	評価
具体的施策①：個やグループの考えを可視化して共有し、学びを深める活動の充実	●
具体的施策②：オンラインによる他者との交流を活用した学習の充実	●
<b>【発展期】社会課題等の解決に向けた活動や新たな表現による創造的な活動の充実</b>	評価
具体的施策①：総合的な学習などにおけるICTを活用して社会課題等を解決する活動の充実	－
具体的施策②：音楽や図工美術などにおけるICTを活用した創造的な活動の充実	－

## 基本方針 B：情報活用能力の育成

<b>【導入期】1人1台端末の活用に必要となる基礎的な知識・技能の育成</b>	評価
具体的施策①：各教科等での活用を通じた基本操作、情報モラル、セキュリティへの理解促進	△△
具体的施策②：道徳や特別活動の年間指導計画に基づく情報モラルや態度の育成	○
<b>【充実期】深い学びの実現に必要な情報活用能力の育成</b>	評価
具体的施策①：各教科等における情報収集、整理、分析、表現、発信の方法の理解促進	○○
具体的施策②：情報を活用して問題解決や探究を進める活動の充実	○△
<b>【発展期】課題解決に向けた活動や創造的な活動に必要な情報活用能力の育成</b>	評価
具体的施策①：社会課題等の解決への見通しをもって必要な情報を集め、その情報を整理・分析し、解決を図るといった一連の活動の充実	－
具体的施策②：ICTの活用により、自分らしい作品や新たな価値などを創造する活動の充実	－

## 基本方針 C：様々な状況の子供への学びの保障

<b>【導入期】オンラインによる学校外での学習環境の構築</b>	評価
具体的施策①：その日の授業内容について、自らの必要に応じて復習したり、様々な事情で登校できない子供が取り組んだりできるオンライン学習環境の構築	●○○
具体的施策②：個に応じた支援が必要な子供や外国籍の子供に対するICTを活用した合理的配慮の提供や学習の充実	△△△
<b>【充実期】多様な子供に対するICTを活用した学習の充実</b>	評価
具体的施策①：教育支援教室におけるICTを活用した不登校支援	○△○
具体的施策②：外部人材によるICTを活用した不登校支援	△
<b>【発展期】一人一人に個別最適化された学びの提供</b>	評価
具体的施策①：自らの理解度や到達度に合わせ、自由に学びを深めたり進めたりできる環境の整備	－

## 基本方針 D：校務の効率化

<b>【導入期】学校配布物等のデータ化の推進</b>	評価
具体的施策①：Googleクラスルームの活用による学校便り、各種チラシ等の配付の合理化	○○○
具体的施策②：Googleフォームの活用によるアンケート実施の促進	○○
<b>【充実期】ドリル学習・校務支援システムの活用促進</b>	評価
具体的施策①：学習支援システムの活用による校務負担の軽減	●○○
具体的施策②：校務支援システムのより一層の活用促進による校務負担の軽減	●
<b>【発展期】多様な働き方に対応した環境の整備</b>	評価
具体的施策①：様々な状況下での多様な勤務の形態や内容に対応できるICT環境の整備	－

## 基本方針 E：教師の指導力向上

<b>【導入期】個に応じた学習ツールとしてのICT活用の研修推進</b>	評価
具体的施策①：端末やドリル学習システムの基本操作、活用方法についての研修の充実	○
<b>【充実期】協働的な学習の充実に向けたICT活用の研修推進</b>	評価
具体的施策①：ICTを活用した協働的な学びに向けた授業づくり研修	○
具体的施策②：ICTを活用した授業実践例を共有できる仕組みづくり	○
<b>【発展期】ICTを活用して、社会課題等の解決や創造的な活動につながる学習の実現</b>	評価
具体的施策①：ICTを活用して、社会課題等を見出し、解決を目指す探求型学習の検討・カリキュラムへの位置づけ	－
具体的施策②：より高度なICT活用を図っていくための外部人材の積極的な活用促進	－

学校教育情報化推進計画 進捗状況調査

基本方針 A：各教科等における効果的なICT活用

評価：○ 達成、△ どちらでもない、● 十分でない、－ 未実施



具体方針：【導入期】個に応じた学習ツールとしてのICT活用の充実

具体的施策①：授業中の必要に応じた、学習の道具としてのICT活用の充実

R3 上半期	R3 下半期	R4 上半期	R4 下半期	R5 上半期	R5 下半期
--------	--------	--------	--------	--------	--------

学習プリント・資料・ワークシート等をデジタルデータとして配信している頻度はどれくらいか。（学校）

ほぼ毎日	60	8.4%	45.3%
週に3日程度	89	12.4%	
週に1日程度	175	24.4%	
月に1～2日程度	142	19.8%	54.7%
月で1日未満	250	34.9%	
計	716	100.0%	



R3 上半期	R3 下半期	R4 上半期	R4 下半期	R5 上半期	R5 下半期
--------	--------	--------	--------	--------	--------

画像や動画の撮影、音声の録音等のアプリを用いて、作成したデータを授業に限らず、いつでもどこでも活用できる児童生徒の割合はどれくらいか。（学校）

ほぼ全て	148	21.1%	70.9%
7割～8割程度	204	29.1%	
5割程度	144	20.6%	
2割～3割程度	92	13.1%	29.1%
1割以下	112	16.0%	
計	700	100.0%	

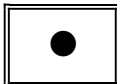


具体的施策②：ドリル学習システムによる補充、学習履歴に基づく個別指導の充実

R3 上半期	R3 下半期	R4 上半期	R4 下半期	R5 上半期	R5 下半期
--------	--------	--------	--------	--------	--------

ドリルパークを活用して学習状況を把握し、個別学習の支援を行う頻度はどれくらいか。（学校）

ほぼ毎日	32	4.6%	30.4%
週に3日程度	73	10.5%	
週に1日程度	106	15.3%	
月に1～2日程度	126	18.1%	69.6%
月で1日未満	358	51.5%	
計	695	100.0%	



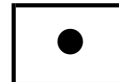
具体方針：【充実期】授業支援システム等の活用による協働的な学習の充実

具体的施策①：個やグループの考えを可視化して共有し、学びを深める活動の充実

R3 上半期	R3 下半期	R4 上半期	R4 下半期	R5 上半期	R5 下半期
--------	--------	--------	--------	--------	--------

グループやクラス全体での話し合いの場面でオクリンク・ムーブノート・ジャムボード等を活用し、他者の考えを共有したり、整理・分析などを行ったりすることで児童生徒の考えを深めさせる活動を行う頻度はどれくらいか。（学校）

ほぼ毎日	27	3.8%	38.2%
週に3日程度	83	11.8%	
週に1日程度	158	22.5%	
月に1～2日程度	213	30.3%	61.8%
月で1日未満	221	31.5%	
計	702	100.0%	

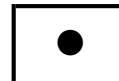


具体的施策②：オンラインによる他者との交流を活用した学習の充実

R3 上半期	R3 下半期	R4 上半期	R4 下半期	R5 上半期	R5 下半期
--------	--------	--------	--------	--------	--------

オンライン会議システムを活用することで、外国語でのALT2人体制の指導または国語や社会などでのゲストティーチャーを招いての授業づくりを行ったことがあるか。（学校）

ある	43	6.0%	6.0%
ない	668	94.0%	94.0%
計	711	100.0%	



具体方針：【発展期】社会課題等の解決に向けた活動や新たな表現による創造的な活動の充実



具体的施策①：総合的な学習などにおけるICTを活用して社会課題等を解決する活動の充実

R3 上半期	R3 下半期	R4 上半期	R4 下半期	R5 上半期	R5 下半期
--------	--------	--------	--------	--------	--------

-
---

具体的施策②：音楽や図工美術などにおけるICTを活用した創造的な活動の充実

R3 上半期	R3 下半期	R4 上半期	R4 下半期	R5 上半期	R5 下半期
--------	--------	--------	--------	--------	--------

-
---

学校教育情報化推進計画 進捗状況調査

基本方針 B：情報活用能力の育成

評価：○ 達成、△ どちらでもない、● 十分でない、－ 未実施



具体方針：【導入期】1人1台端末の活用に必要な基礎的な知識・技能の育成

具体的施策①：各教科等での活用を通じた基本操作、情報モラル、セキュリティへの理解促進

R3上半期 R3下半期 R4上半期 R4下半期 R5上半期 R5下半期

「教育の情報化に関する手引き」の第2章に掲載されている、発達の段階等を踏まえた情報活用能力の体系表の内容を意識しながら、各教科等での授業実践を行っている。（学校）

当てはまる	36	5.0%	38.2%
やや当てはまる	238	33.1%	
どちらとも言えない	253	35.2%	35.2%
やや当てはまらない	94	13.1%	26.6%
当てはまらない	97	13.5%	
計	718	100.0%	



R3上半期 R3下半期 R4上半期 R4下半期 R5上半期 R5下半期

市内の学校における、各教科等での情報活用能力の育成を意識した授業実践例を集約し紹介するとともに、それらに基づく年間指導計画のモデルを作成している。（市教委）

- 「ひろがるタブレットひろば」で実践例を集約し、紹介した。
- 年間指導計画のモデルは示していない。

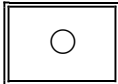
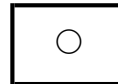


具体的施策②：道徳や特別活動の年間指導計画に基づく情報モラルや態度の育成

R3上半期 R3下半期 R4上半期 R4下半期 R5上半期 R5下半期

「ネット社会の歩き方」等のWeb上にあるコンテンツを活用し、子供たちに自分事として捉えさせたり考えを深めさせたりする授業を実施し、情報モラルについての知識・技能を育成していくとともに、責任をもって適切に情報を扱おうとする態度や主体的に情報社会に参画しようとする態度を育成している。（学校）

当てはまる	60	8.3%	52.2%
やや当てはまる	315	43.8%	
どちらとも言えない	192	26.7%	26.7%
やや当てはまらない	66	9.2%	21.1%
当てはまらない	86	12.0%	
計	719	100.0%	



具体方針：【充実期】深い学びの実現に必要な情報活用能力の育成

具体的施策①：各教科等における情報収集、整理、分析、表現、発信の方法の理解促進

R3上半期 R3下半期 R4上半期 R4下半期 R5上半期 R5下半期

「教育の情報化に関する手引き」の第4章などを参考に、各教科の特質に応じた見方・考え方を働かせる手立ての一つとして、情報収集、整理、分析、表現、発信等の活動を意図的に取り入れることで、主体的・対話的で深い学びの実現と情報活用能力の育成を目指した授業づくりを推進している。（学校）

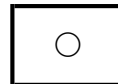
当てはまる	54	7.5%	52.9%
やや当てはまる	327	45.4%	
どちらとも言えない	201	27.9%	27.9%
やや当てはまらない	71	9.9%	19.2%
当てはまらない	67	9.3%	
計	720	100.0%	



R3上半期 R3下半期 R4上半期 R4下半期 R5上半期 R5下半期

市内の学校で実践されている、深い学びの実現に情報を効果的に活用した事例を集め、学校訪問や研修、C4thなどへの掲載により周知を図っている。（市教委）

- 教頭会議や学校訪問、研修等で紹介した。
- 「授業改善に向けた取組」に事例を掲載し、周知を図った。
- 県教委や業者からの各教科等における情報を効果的に活用した事例を収集し、C4thの会議室や教職員のポータルサイトの「まえばしGIGAサポートサイト」に掲載し、周知を図った。

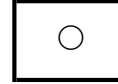


具体的施策②：情報を活用して問題解決や探究を進める活動の充実

R3 上半期 R3 下半期 R4 上半期 R4 下半期 R5 上半期 R5 下半期

「教育の情報化に関する手引き」の第2章や市教委の年間指導計画モデルなどを参考に、教科横断的な視点からカリキュラムマネジメントを行い、総合的な学習の時間や各教科等が相互に関連した学習などにおいて、主体的に情報を活用して問題解決や探究を進める活動の充実を図っている。（学校）

当てはまる	50	7.0%	50.9%
やや当てはまる	316	43.9%	
どちらとも言えない	214	29.8%	29.8%
やや当てはまらない	78	10.8%	
当てはまらない	61	8.5%	19.3%
計	719	100.0%	



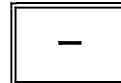
R3 上半期 R3 下半期 R4 上半期 R4 下半期 R5 上半期 R5 下半期

プログラミング教育で育む論理的思考力などの資質・能力について、「教育の情報化に関する手引き」の第3章などを参考にして、学習指導要領で示されている教科等での着実な育成を図っていくとともに、小学校では、その他の教科等などにおいても、実態に応じてプログラミングを取り入れ、育成を図っている。（学校）

当てはまる	28	3.9%	26.5%
やや当てはまる	162	22.6%	
どちらとも言えない	241	33.7%	33.7%
やや当てはまらない	125	17.5%	
当てはまらない	160	22.3%	39.8%
計	716	100.0%	



具体方針：【発展期】課題解決に向けた活動や創造的な活動に必要な情報活用能力の育成



具体的施策①：社会課題等の解決への見通しをもって必要な情報を集め、その情報を整理・分析し、解決を図るといった一連の活動の充実

R3 上半期 R3 下半期 R4 上半期 R4 下半期 R5 上半期 R5 下半期



具体的施策②：ICTの活用により、自分らしい作品や新たな価値などを創造する活動の充実

R3 上半期 R3 下半期 R4 上半期 R4 下半期 R5 上半期 R5 下半期



学校教育情報化推進計画 進捗状況調査

基本方針 C：様々な状況の子供への学びの保障

評価：○ 達成、△ どちらでもない、● 十分でない、－ 未実施



具体方針：【導入期】オンラインによる学校外での学習環境の構築

具体的施策①：その日の授業内容について、自らの必要に応じて復習したり、様々な事情で登校できない子供が取り組んだりできるオンライン学習環境の構築

R3 上半期 R3 下半期 R4 上半期 R4 下半期 R5 上半期 R5 下半期

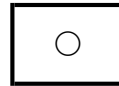
子供たちが学校外における学習等でも1人1台端末を有効活用できるよう、ドリルパークを用いた宿題を出している。(学校)

ほぼ毎日	25	3.6%	18.9%
週に3日程度	35	5.0%	
週に1日程度	71	10.2%	81.1%
月に1~2日程度	97	14.0%	
月で1日未満	466	67.1%	
計	694	100.0%	



ドリルパークを用いた最適な宿題の出し方を確立・習慣化できるよう支援している。(市教委)

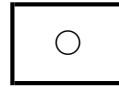
- 支援している。
- ドリルパークなどの学習支援システムの活用状況をアンケート調査し、その結果を公表し、活用が促進するよう支援した。
- 支援している。



R3 上半期 R3 下半期 R4 上半期 R4 下半期 R5 上半期 R5 下半期

必要な場合の端末やアカウントの用意を速やかに行っている。(市教委)

- 新型コロナウイルスの影響で登校できない子供たちのために学校に端末の貸出を行った。
- よりよいオンライン学習の環境を構築するために、教員が使用するヘッドセットや大型ディスプレイ(小学校)を整備した。
- 各教育支援教室にタブレット端末を配備し、児童生徒への支援や教室間の情報共有を行う環境整備を行った。



具体的施策②：個に応じた支援が必要な子供や外国籍の子供に対するICTを活用した合理的配慮の提供や学習の充実

R3 上半期 R3 下半期 R4 上半期 R4 下半期 R5 上半期 R5 下半期

特別支援教育に関わるICTを活用した実践・事例の情報収集と情報提供を行うことで、教職員のICT活用の意識を高め、実践力を養えるようにしている。(市教委)

- △令和3年度に各学校から実践事例を集約したが、公表・共有するには個人情報が多いため、計画訪問や要請訪問等の機会や各学校からの問い合わせに応じて、直接指導主事が適切な活用事例や合理的配慮を伝達するようにした。
- 今後も実践事例を収集するとともに、国立特別支援教育研究所などのデータベースを活用できるように働きかけていく。



R3 上半期 R3 下半期 R4 上半期 R4 下半期 R5 上半期 R5 下半期

ICTを活用した合理的配慮の提供や学習の充実について、実践を行っている。(学校)

当てはまる	53	7.4%	40.2%
やや当てはまる	233	32.7%	
どちらとも言えない	194	27.2%	32.6%
やや当てはまらない	100	14.0%	
当てはまらない	132	18.5%	
計	712	100.0%	

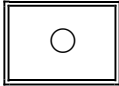


ICTを活用した合理的配慮の提供や学習の充実について、各学校の実践等を特別支援教育室で集約し、情報提供したり、C4th掲示板等で共有したりできる環境を整えている。(市教委)

- △令和3年度に各学校から実践事例を集約したが、公表・共有するには個人情報が多いため、計画訪問や要請訪問等の機会や各学校からの問い合わせに応じて、直接指導主事が適切な活用事例や合理的配慮を伝達するようにした。
- 今後も実践事例を収集するとともに、国立特別支援教育研究所などのデータベースを活用できるように働きかけていく。



具体方針：【充実期】多様な子供に対するICTを活用した学習の充実



具体的施策①：教育支援教室におけるICTを活用した不登校支援

R3上半期 R3下半期 R4上半期 R4下半期 R5上半期 R5下半期

教育支援教室の入室希望児童生徒及び保護者に、オンライン上で指導員の紹介、施設の様子、学習内容等を説明し、通室しやすい雰囲気を作っている。

教育支援教室に入室後、継続的に通室できない児童生徒とオンライン上で指導員が交流を図り、信頼関係を構築し通室につなげている。また、生活リズムが乱れている児童生徒と定期的にオンライン面談を実施し、基本的な生活習慣の確立に向けて支援している。

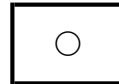
通室している児童生徒の保護者とオンライン面談を実施し、悩みや不安の解消を図っている。

在籍校の教職員とオンライン上で児童生徒の様子について情報交換を行い、個に応じた支援を展開している。（市教委）

○令和3年度は、入室希望生徒及び保護者に、オンライン上で指導員の紹介、施設の様子、学習内容等を説明した。

○継続的に通室できていない児童とオンライン上で指導員が交流を図った。

○令和4年度は、通室している児童生徒との連絡手段として、タブレットを用い、欠席の際も連絡を取り合った。



R3上半期 R3下半期 R4上半期 R4下半期 R5上半期 R5下半期

教育支援教室に入室後、継続的に通室できない児童生徒にオンライン上でICT教材を活用した個別学習支援を行っている。

各教育支援教室間でオンライン上で交流を図り、児童生徒の人間関係能力や表現力を育成している。また、指導員同士で指導内容や運営状況について情報交換を行い、指導技術の向上と教室運営の改善に努めている。（市教委）

○令和3年度は、青少年支援センター指導主事等が、児童生徒にオンラインで個別学習支援を継続的に行った。

○令和4年度は、行事の連絡等を含めて教室運営の改善に努めた。

●各教育支援教室間でオンライン上で交流を図ることはできなかった。



R3上半期 R3下半期 R4上半期 R4下半期 R5上半期 R5下半期

教育支援教室に入室している児童生徒に向けて、教育支援教室指導員による補充授業をオンライン上で配信している。（市教委）

○通室している児童生徒に対して、持参したタブレットを活用し、学校の学習進度や本人の状況を踏まえた補充学習を行った。



具体的施策②：外部人材によるICTを活用した不登校支援

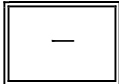
R3上半期 R3下半期 R4上半期 R4下半期 R5上半期 R5下半期

オープンドアサポーターが担任と連携して、不登校児童生徒とオンラインによる交流を図り、家庭訪問や面談等の支援につなげて学校復帰を促している。（市教委）

△システム上の課題から、オープンドアサポーターへ端末を整備できないこともあり、不登校児童生徒とオンラインで交流できる場面を設定することはできなかった。

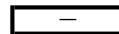


具体方針：【発展期】一人一人に個別最適化された学びの提供



具体的施策①：自らの理解度や到達度に合わせ、自由に学びを深めたり進めたりできる環境の整備

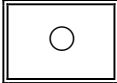
R3上半期 R3下半期 R4上半期 R4下半期 R5上半期 R5下半期



学校教育情報化推進計画 進捗状況調査

基本方針 D：校務の効率化

評価：○ 達成、△ どちらでもない、● 十分でない、－ 未実施



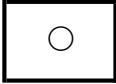
具体方針：【導入期】学校配布物等のデータ化の推進

具体的施策①：Googleクラスルームの活用による学校便り、各種チラシ等の配付の合理化

R3上半期	R3下半期	R4上半期	R4下半期	R5上半期	R5下半期
-------	-------	-------	-------	-------	-------

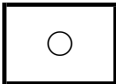
従来より紙で配布していた学校のお便り等を可能な限りデジタルデータ化し、Googleクラスルームで1人1台端末に配信している頻度はどれくらいですか。（学校）

ほぼ毎日	103	14.0%	71.7%
週に3日程度	97	13.1%	
週に1日程度	329	44.6%	
月に1～2日程度	94	12.7%	28.3%
月で1日未満	115	15.6%	
計	738	100.0%	



各種団体から配布を依頼されたチラシなどは、可能な限りデジタルデータ化し、Googleクラスルームで1人1台端末に配信するよう学校に依頼している。（市教委）

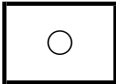
- 依頼している。
- チラシ等可能な限りデータ化し、Googleクラスルームで1人1台端末に配信するよう学校に依頼した。
- 計画通り推進した。
- 依頼している
- タブレット活用アンケートにより、学校便りや各種チラシ等のデジタル配信で省力化したと肯定的に回答した保護者は64.9%（R3.8）から72.1%（R5.1）と7.2ポイント増加。教職員は71.8%（R3.8）から86.5%（R5.1）と14.7ポイント増加と、合理化が図られている。



R3上半期	R3下半期	R4上半期	R4下半期	R5上半期	R5下半期
-------	-------	-------	-------	-------	-------

各種団体から例年依頼されるチラシについては、デジタル配信の趣旨を説明し、データでの提供への理解を求めている。（市教委）

- 理解を求めている。
- ×チラシの中には、すでに印刷されていたため、デジタル配信の趣旨を説明できなかったものがあつた。
- 計画通り推進した。
- 理解を求めている
- 依頼されたチラシ等はデジタルデータで提供してもらうよう呼びかけた。



具体的施策②：Googleフォームの活用によるアンケート実施の促進

R3上半期	R3下半期	R4上半期	R4下半期	R5上半期	R5下半期
-------	-------	-------	-------	-------	-------

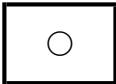
従来より紙で配布していた学校評価等の各種アンケートについて、可能な限りGoogleフォームへの置き換えを行うことで、学校・家庭双方の負担軽減を図っている。（学校）

当てはまる	286	38.4%	74.4%
やや当てはまる	268	36.0%	
どちらとも言えない	102	13.7%	13.7%
やや当てはまらない	31	4.2%	11.9%
当てはまらない	58	7.8%	
計	745	100.0%	



従来より紙で配布していた学校評価等の各種アンケートについて、可能な限りGoogleフォームへの置き換えを行うことで、学校・家庭双方の負担軽減を図っている。（市教委）

- 負担軽減を図っている。
- 生活実態調査やヤングケアラー実態調査など可能な限りGoogleフォームへの置き換えを行った。
- ×未実施。
- 負担軽減を図っている。
- 県の調査や室からの調査（タブレット活用アンケート等）はできる限りGoogleフォームを活用して実施した。





具体方針：【充実期】ドリル学習・校務支援システムの活用促進

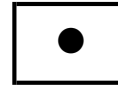


具体的施策①：学習支援システムの活用による校務負担の軽減

R3 上半期 R3 下半期 R4 上半期 R4 下半期 R5 上半期 R5 下半期

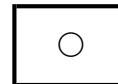
学習支援システム（ミライシード）の協働学習機能（オクリンク・ムーブノート）を活用した授業づくりや、ドリル学習機能（ドリルパーク）を活用した宿題準備を日常的に行い、校務負担の軽減を図っている頻度はどれくらいですか。（学校）

ほぼ毎日	35	5.0%	39.0%
週に3日程度	87	12.5%	
週に1日程度	149	21.4%	
月に1～2日程度	146	21.0%	61.0%
月で1日未満	278	40.0%	
計	695	100.0%	



授業準備や評価の方法等について、学校訪問や研修の機会に具体的に助言している。（市教委）

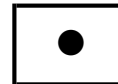
○助言している。



R3 上半期 R3 下半期 R4 上半期 R4 下半期 R5 上半期 R5 下半期

学習支援システム（ミライシード）のカルテ機能により、子供一人一人の学習への取組状況や提出物等を一元管理していくことで、客観的なデータを参考にした評価を効率的に行っている。（学校）

当てはまる	19	2.7%	19.5%
やや当てはまる	119	16.8%	
どちらとも言えない	154	21.8%	21.8%
やや当てはまらない	119	16.8%	58.8%
当てはまらない	297	41.9%	
計	708	100.0%	



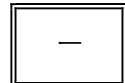
具体的施策②：校務支援システムのより一層の活用促進による校務負担の軽減

R3 上半期 R3 下半期 R4 上半期 R4 下半期 R5 上半期 R5 下半期

C4thに機能が追加されていないため評価不能

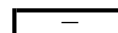


具体方針：【発展期】多様な働き方に対応した環境の整備

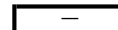


具体的施策①：様々な状況下での多様な勤務の形態や内容に対応できるICT環境の整備

R3 上半期 R3 下半期 R4 上半期 R4 下半期 R5 上半期 R5 下半期



R3 上半期 R3 下半期 R4 上半期 R4 下半期 R5 上半期 R5 下半期

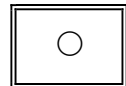


学校教育情報化推進計画 進捗状況調査

基本方針 E：教師の指導力向上

評価：○ 達成、△ どちらでもない、● 十分でない、－ 未実施

具体方針：【導入期】個に応じた学習ツールとしてのICT活用の研修推進

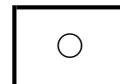


具体的施策①：端末やドリル学習システムの基本操作、活用方法についての研修の充実

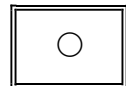
R3 上半期 R3 下半期 R4 上半期 R4 下半期 R5 上半期 R5 下半期

総合教育プラザ研修講座「つながるICTひろば」をはじめ、要請訪問・出前研修等で、端末操作やドリル学習システムの基本操作についての習得が図られる環境を整えている。(市教委)

- 環境を整えている。
- 環境を整えている。
- 令和4年度に新規導入した学習 e ポータル「L-Gate」の操作研修を実施した。
- 後日でも研修内容を閲覧できるよう動画をポータルサイトに掲載した。
- 端末や学習システムの基本操作・活用方法の資料をGIGAスクール運営支援センターの支援員が作成し、ポータルサイトに掲載した。



具体方針：【充実期】協働的な学習の充実に向けたICT活用の研修推進

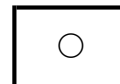


具体的施策①：ICTを活用した協働的な学びに向けた授業づくり研修

R3 上半期 R3 下半期 R4 上半期 R4 下半期 R5 上半期 R5 下半期

総合教育プラザ研修講座「ICT授業づくり研修」等により、各教科における協働的な学びを実現する授業づくりについて事例を踏まえて理解を深められるようにしている。(市教委)

- 理解を深められるようにしている。



具体的施策②：ICTを活用した授業実践例を共有できる仕組みづくり

R3 上半期 R3 下半期 R4 上半期 R4 下半期 R5 上半期 R5 下半期

C4th会議室「まえばしICT活用ひろば」による、授業実践例の収集と共有・活用を図っている。(市教委)

- 共有・活用を図っている。

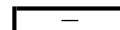


具体方針：【発展期】ICTを活用して、社会課題等の解決や創造的な活動につなげる学習の実現



具体的施策①：ICTを活用して、社会課題等を見出し、解決を目指す探求型学習の検討・カリキュラムへの位置づけ

R3 上半期 R3 下半期 R4 上半期 R4 下半期 R5 上半期 R5 下半期



具体的施策②：より高度なICT活用を図っていくための外部人材の積極的な活用促進

R3 上半期 R3 下半期 R4 上半期 R4 下半期 R5 上半期 R5 下半期

